

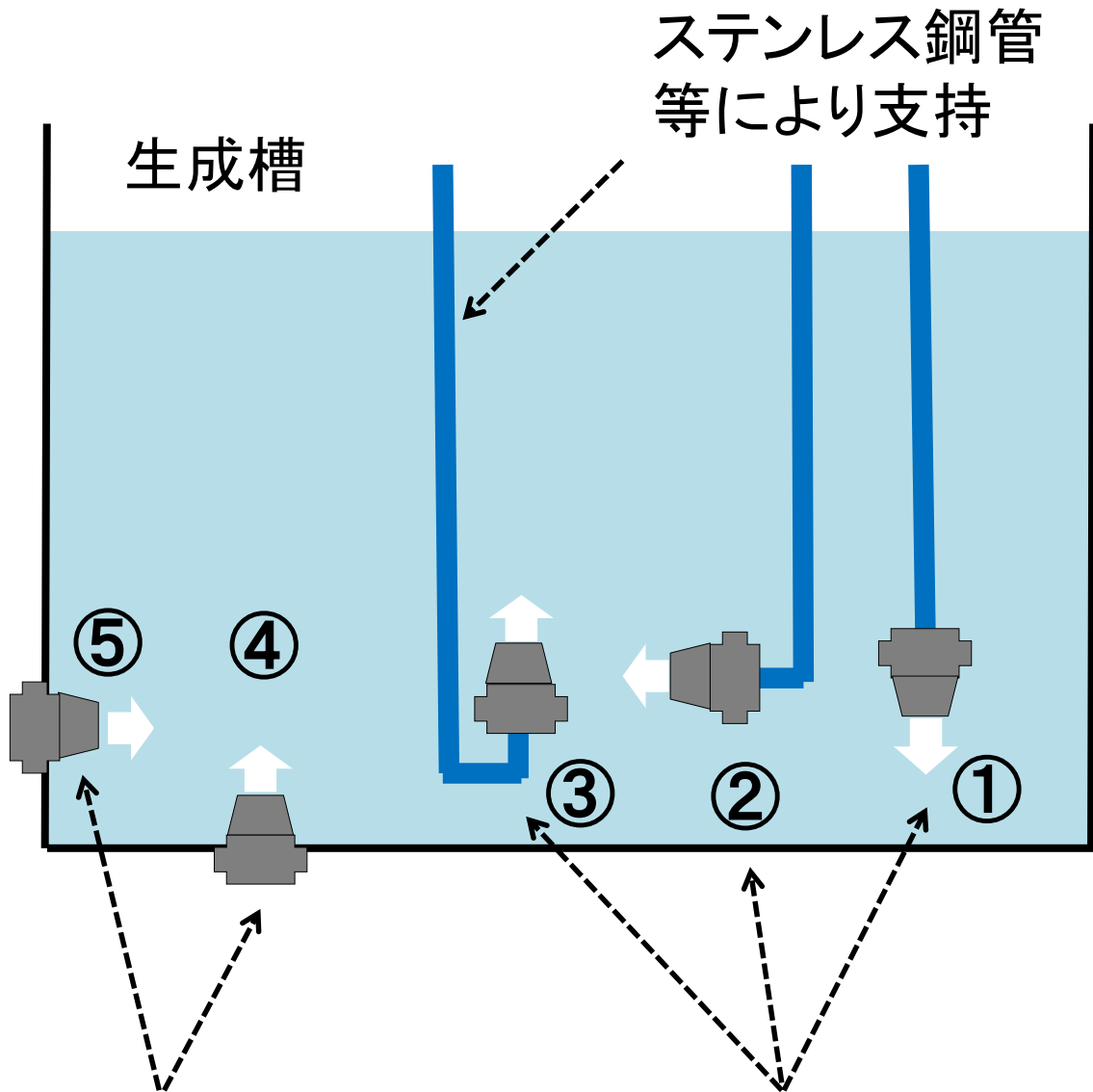
取扱い説明書

NBG-Y05 (標準型)



生成器の設置方法例

当社では、下図のように生成槽内に生成器を設置し、ポンプで循環して生成する「循環方式」を推奨しています。



生成槽壁面に直接
取付る方法

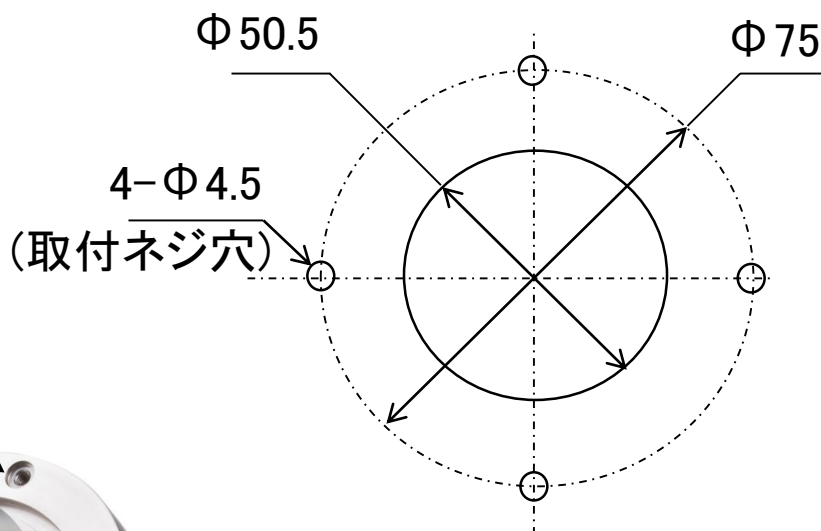
生成槽内に吊り下げ
る方法

生成槽壁面に直接取り付ける場合

【注意】

- ①生成器を取り付ける壁面には、開口部(下図)が必要です。
- ②生成器取付面はOリングシールとなるため、平らな面が必要です。
- ③取付ねじの長さは、生成槽の壁面の厚みによって異なります。

開口部寸法

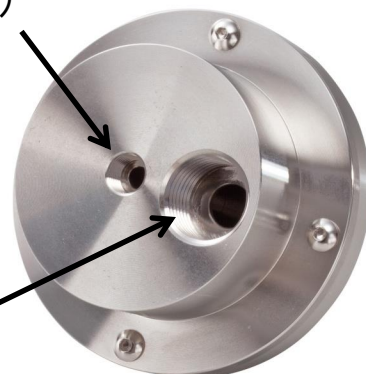


4-P4 Oリング
(別売り)



G-55 Oリング
(別売り)

気体(空気)
取り入れ口
(Rc 1/8)

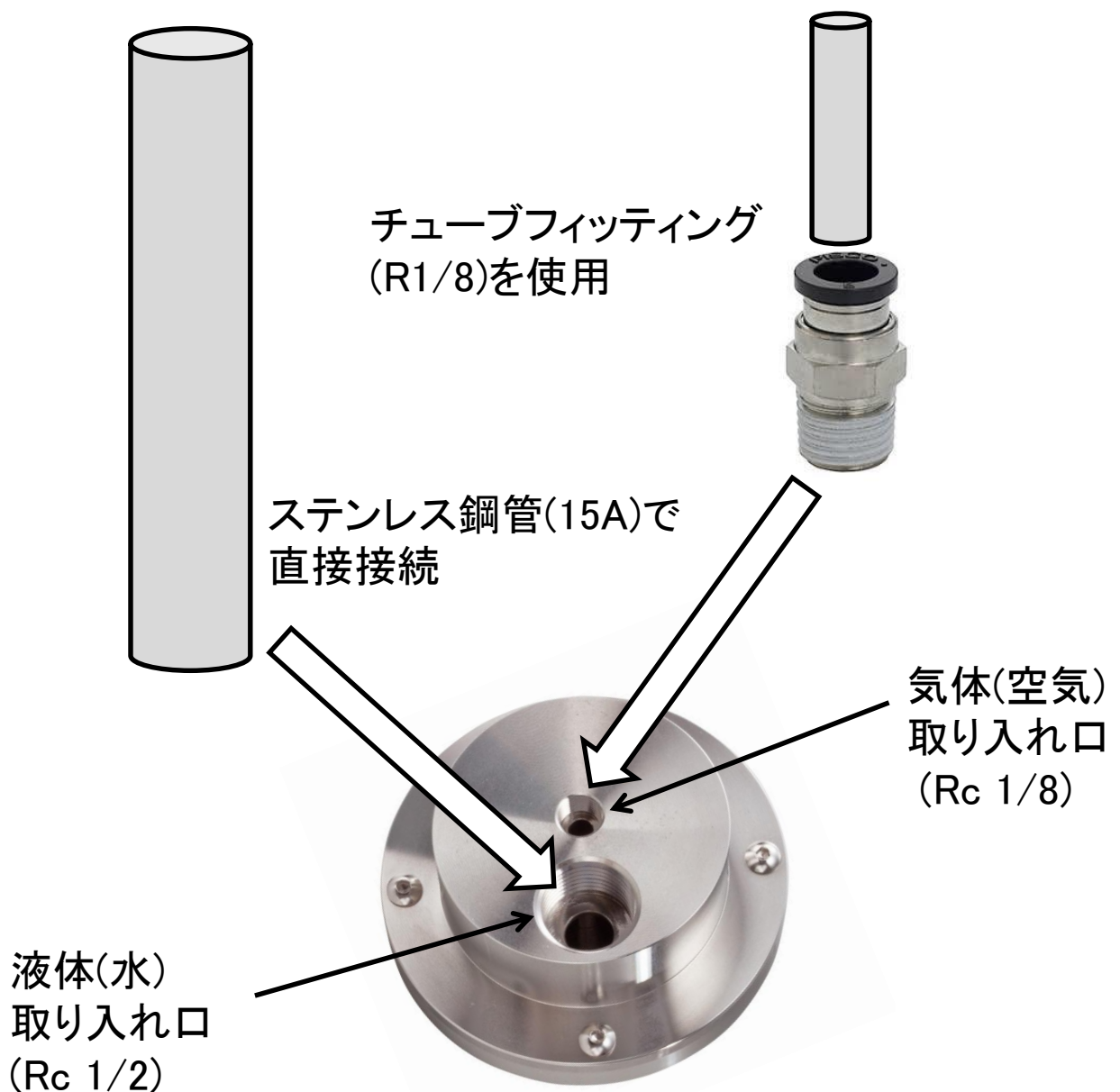


液体(水)
取り入れ口
(Rc 1/2)

生成槽内に吊り下げる場合

【推奨方法】

- ①液体(水)の取入れは、剛性があり腐食しにくいステンレス鋼管(15A)を用いて支持する。
- ②気体(空気)の取入れは、チューブフィッティングを使用する。



液体の供給圧 / 気体の供給量

【推奨】

液体供給圧・・・・・・0.2～0.5 MPa

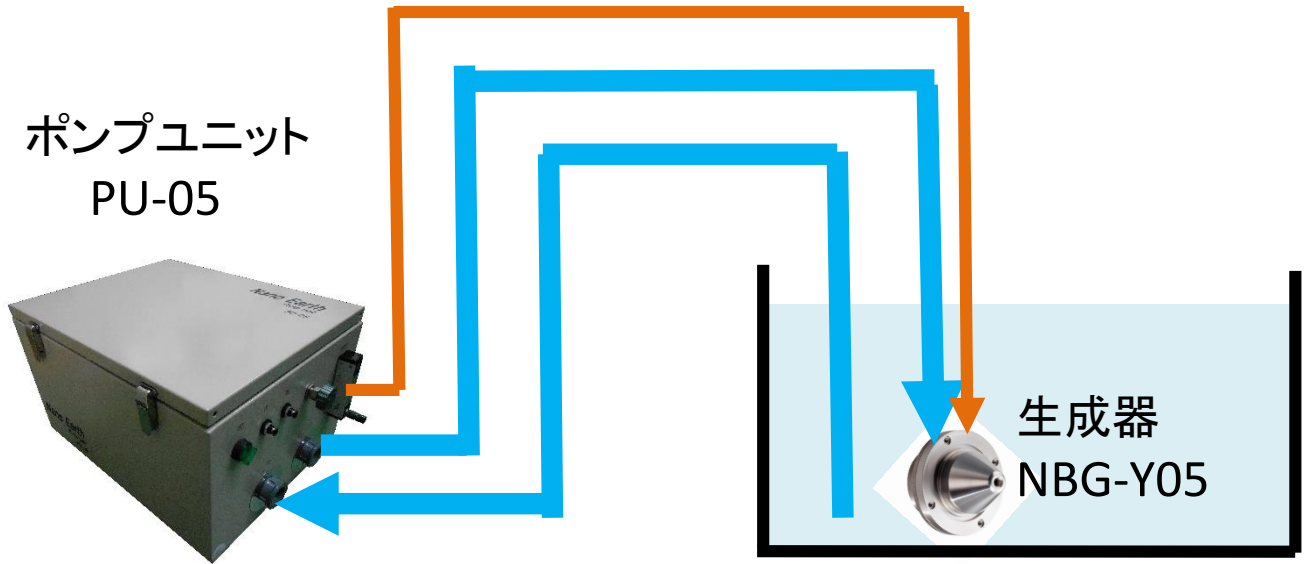
気体供給量・・・・・・5～30 ml/min

《ご注意》

- 供給する気体が空気(大気)の場合は、生成器に負圧が発生し、自吸します。
但し、ポンプ停止時点で液体が逆流しますので、逆止弁を設置するか、空気(大気)供給管を液体面から逆流しない距離まで延長してご使用ください。
- 空気以外のGasを使用される場合は、圧力を0.1MPa以下に減圧してから供給してください。

使用例

■ポンプユニット(別売)を使用してナノバブルを生成する場合



■別のポンプを使用してナノバブルを生成する場合

